

千葉県内の自治体の間で、オリジナルの婚姻届を作成する動きが相次いでいる。婚姻届は必要な記入欄さえあれば、余白にイラストなどがあしらわれていても受理される。各自自治体は結婚する2人に地域への愛着を持ってもらい、定住して子育てしてもらいたい考えだ。

勝浦市は市のキャラクター「カップピー」を使った婚姻届4種を作成し、10月から配布している。18日からは市の広報誌などでも案内を始めた。これまで独自の婚姻届を市

「ご当地婚姻届」続々

勝浦や木更津 キャラ・「聖地」あしらう



勝浦市は市のキャラクター「カップピー」をあしらった婚姻届4種を作成した

る。

木更津市も11月上旬から、3種類のご当地婚姻届の配布を始めた。恋人の聖地とされる中の島大橋（同市）などのイラスト

判断した。同市では結婚や出産支援に力を入れており、今後はオリジナルの出生届も作成したいとしている。

自治体のご当地婚姻届は、浦安市などが先行して配布している。結婚や子育て支援に積極的な自

22日は「いい夫婦の日」で、今年は友引に当たるため、婚姻届を提出するカップルも例年より多いと想定される。人口の多い県北西部では窓口の混雑に注意を呼びかける自治体もある。

地域に愛着、定住促す

の窓口に提出したカップルは1組のみだが「市内に住む人はもちろん、市外の人もダウンロードして使ってもらうことで勝浦市に興味を持ってほしい」（市民課）と期待す

こと、需要があるから、提出することから、需要がある

を低予算でPRできる利点がある。今後婚姻届の提出が増える七夕などの時期に合わせて、ご当地婚姻届を作成する自治体が増える可能性がある。

市川市は市のウェブサイト「11月22日に婚姻届を提出される方へ」との注意書きを掲載。時間に余裕を持って来るように呼びかけている。この日は例年職員総出で対応しているが「長いと1時間近い待ち時間が発生することもある」（市民課）という。